

岡山県立東備支援学校 いじめ防止基本方針

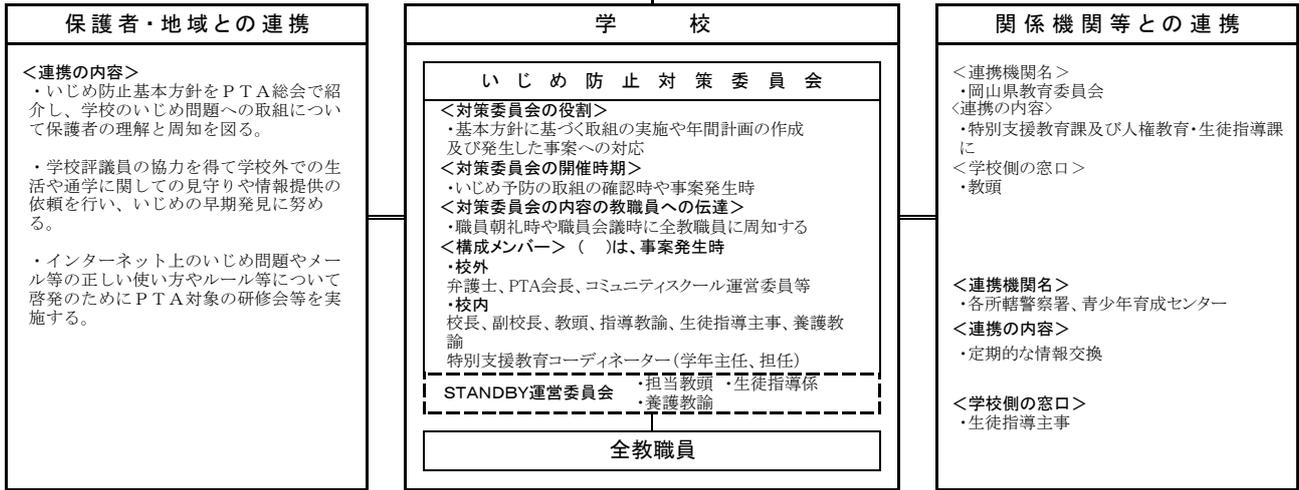
令和5年4月

いじめに関する現状と課題

- ・本校では、高等部の生徒間のトラブルやからかい、LINEでの中傷などが、年に数回あった。
- ・高等部生徒の半数近くが、通学中のJRやバス等の緊急時の連絡用として、携帯電話を所持しているが、メールアドレスや電話番号の交換が行われている。
- ・携帯電話の使用については備前署の方に来校していただき、メールの利用の仕方、サイトの利用等情報モラルについての授業を行い、その後担任で個別にフォローをしている。また、折に触れて、携帯電話の使い方のチェックもしている。今後も継続して、取り組んでいくことにしている。また、ささいな生徒同士のトラブルも、大きくならないうちに対応するように気を付けていく。
- ・「STANDBY」「教育相談」などの取り組みを行い、いじめの早期発見に努める。

いじめ問題への対策の基本的な考え方

- ・全教職員による取組を推進するため、校長を中心に管理職や学年主任、生徒指導主事、養護教諭、学年担任などからなるいじめ防止対策委員会を組織する。また、いじめの防止・早期発見・対処のための取り組みを行う。
 - ・いじめの未然防止のため、児童生徒の「居場所づくり」や「誰もが活躍できる」機会を設けることで、自己存在感と充実感を感じられる学校づくりを進める。
 - ・いじめの早期発見のため、日頃から児童生徒の見守りや信頼関係の構築に努める。あわせて、教育相談の充実を図り、得られた情報を教職員間で共有する。
- <重点となる取り組み>
- ・SNS等を利用によるいじめや中傷についての認識を深め、いじめの認知能力や対応能力向上のための研修を行う。
 - ・生徒のSNS利用の実態やいじめについての認識を踏まえ、中・高等部で情報モラルやいじめについての授業を計画的に実施する。
 - ・全児童生徒を対象に、計画的に教育相談を行い、不適切な交友関係の早期発見、防止に努める。



学校が実施する取組

① いじめの防止	<p>(職員研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質能力の向上を図るためストレスマネジメントや障害特性の正しい理解に関する研修を行う。 ・学部単位で、生徒が自信をもって授業に取り組んでいける、授業づくりの研修を行う。 ・全職員対象の人権研修会を実施する。 ・STANDBYを利用したいじめ等相談・報告システムの仕組みと校内体制の確認。 <p>(居場所づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の学習活動や行事等の特別活動の中で、一人一人が、活躍できる機会を設定することで、自己有用感や充実感を育み、意欲的に学習活動に取り組む集団づくりに務める。
② 早期発見	<p>(実態把握)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態把握のためのアセスメントを実施し、教育相談(定期・随時)を行うことで児童生徒の様子を把握し、いじめの早期発見を図る。 <p>(相談体制の確立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談担当の教職員を児童生徒に周知すると同時に、すべての教職員が児童生徒の変化を見逃すことなく声掛けを行い、いじめを訴えやすい体制を整える。(情報共有) ・児童生徒の気になる変化や行為があった場合、複数の教職員で事実関係を正確に把握し、全教職員で情報を共有する。(含むSTANDBYからの情報) <p>(家庭・地域の協力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力を得られるように、家庭の様子について連絡を取り合ったり、気になることは相談を受け入れたりする体制をつくる。 ・地域から通学時の様子を寄せてもらえる体制をつくる。
③ いじめへの対処	<p>(いじめの有無の確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童生徒がいじめを受けているとの情報があったり、その可能性が明らかになったときは、速やかに事実の有無を確認する。 <p>(いじめへの組織的対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめへの対応を検討するために、いじめ防止対策委員会を開催する。 ・いじめられた児童生徒への支援 ・事実関係の聴取を行うとともに、心のケアも行い、その児童生徒が安心して活動ができる環境を確保するとともに、保護者へ情報を迅速に伝え支援する。 <p>(いじめた児童生徒への対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめた気持ちや状況などについて聞き、その背景に目を向けながら、行為の相手に及ぼす影響に気付かせ、保護者の協力を得ながら健全な人間関係を育むことができるような成長を促す指導を行う。